



かけこう通信

令和5年度第1号
令和5年4月20日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

令和5年度スタートしました

4月10日（月）新校長着任式・新任式・始業式を行い、令和5年度がスタートしました。

今年度のカケコーの合言葉は「向き合う。その先に…」です。何と向き合うのか、それを決めるのは自分であり、向き合ったその先には、きっとちょっと成長した自分があることだろうと本間校長先生よりお言葉をいただきました。

すてきな1年間となるように、生徒も教職員も日々いろいろなものとしっかり向き合っていきたいと思います。



『向き合う。その先に…』

令和5年度 カケコー合言葉



令和5年度入学式を行いました

4月11日（火）、令和5年度入学式を行いました。

天気もよく、暖かく穏やかな春の日差し中、今年度は2、3年生や来賓も参列し、保護者、教職員が見守る中、新入生が24名入学しました。

本間校長先生から、新入生に向けて、いろいろな場面で「向き合う」こと、「対話する」ことを意識しながら様々な体験を積み重ね、カケコー生であることを誇りに高校生活を送ってほしい、と語られました。

入学式のあとは、玄関前で保護者の皆様、教職員全員を交えて記念撮影を行ったのち、前日2、3年生が心を込めて準備してくれた教室で初のホームルームとなりました。

今年度の新入生より制服が一新され、新しい制服で緊張の中にも初々しさの広がる一日となりました。



令和5年度新入生より制服が新しくなりました

今年度の新入生より制服が一新されました。

これまでの学ラン、赤いリボンから、新制服は男女ともブレザーで、スラックス、スカート、ネクタイ、リボンなど自分で自由に選べるようになりました。落ち着いた黒に近い紺色をベースに、スラックスやスカートにはチェックが入っています。

3年間通して大切に、また、すてきに着こなしてもらえると期待しています。



対面式を行いました

4月12日（水）1限に対面式を行いました。生徒会執行部が中心となって、企画・運営しました。

生徒会長、新入生代表のそれぞれの挨拶から始まり、生徒会執行部制作の学校紹介動画の上映、3年生によるバスの乗車マナーのレクチャー、各部代表による部活動紹介などを行いました。

一日も早くカケコー生活に慣れてほしいという2、3年生の気持ちといろいろな工夫がこもった、和やかな楽しい対面式となりました。1年生の緊張も少しずつほぐれていくようでした。先輩たちのように充実した学校生活を送れることを期待しています。



新任者紹介

3月に4名の先生方お送りして少しさみしい気持ちがありましたが、4月に新しく3名の先生方をお迎えしました。新任の方からコメントをいただきました。

ほんま たつや
本間 達也 校長（地歴：地理）



今年度、創立70周年を迎える伝統ある“カケコー”にご縁をいただきお世話になることになりました。

“カケコー”の新たな歴史をつくっていきけるよう、保護者・地域の皆様に支えていただきながら生徒の皆さんに向き合っていきたいと思ひます。今後ともご支援のほどよろしくお願ひします。

いとう なおこ
伊藤 尚子 副校長（数学）



松江から通っています。今は長い通勤時間も景色を見ながらのドライブ気分です。

昨年度掛合分校のニュースや紹介を見て、小さな学校だけど大きなパワーがある学校だなあと感じていました。今年はみなさんとどんなことが一緒にできるかととても楽しみにしています。

やまさき けんたろう
山崎 健太郎 先生（理科：生物）



今年の3月に大学を卒業して、4月から講師として掛合分校に勤務することになりました。

初めての教師としての仕事で毎日勉強です。生徒たち全員に理科の面白さが伝わるような授業づくりを頑張りたと思っています。よろしくお願ひします。

かりの かずえ
狩野 一衛 学校アシスタント



自宅は雲南市の大東町です。掛合分校に勤務を希望したところ、本当に着任することができました。昨年3月まで島根県職員で、いくつかの県立学校に勤務したことがあります。

掛合分校の教職員として、新しい気持ちでお役に立てるよう努力したいと思っています。



かけこう通信

令和5年度第2号
令和5年5月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

遠足へ行ってきました

4月21日(金) 全学年で遠足に行きました。
今年度の遠足の行き先は、「島根ワイナリー」

「島根県立古代出雲歴史博物館」「出雲大社」でした。

まずは「島根ワイナリー」でワイン醸造館を見学したあと、ジュースの試飲や学年ごとの写真撮影、買い物などを楽しみました。島根の名産を改めて知るよい機会となりました。

次に「古代出雲歴史博物館」へ行きました。行きのバスの中で事前に出雲大社についてDVDを視聴していましたが、実際にみる宇豆柱の大きさや銅剣の多さに多くの生徒が圧倒されていました。また企画展の出雲神楽では出雲や松江はもちろん、雲南市の神楽も紹介されており、古代からの受け継がれてきた文化や伝統を学ぶことができました。

その後出雲大社へ移動して昼食となりました。昼食後は境内や神門通りを思い思いに散策し、友人との親睦を深めたり、リフレッシュしたりと、とても有意義な1日となりました。



令和5年度 生徒会スタート

4月28日(金) 生徒総会で新旧の生徒会執行部が交代し、新しい生徒会がスタートしました。新生徒会長の石飛唯人さんから「とにかく楽しい学校になるように、みんなの声を聞きながら、いろいろな企画を考えていきたい」と挨拶がありました。

この日の夜には、PTAの代議員会もあり、保護者の方も令和4年度と5年度の役員の方の交代がありました。

学校全体新体制となり、令和5年度それぞれの担当でいろいろなことへ「向きあって」取り組んでいきたいと思います。



雲南警察署「防犯・防災ポスター等完成披露会」

4月28日(金) 雲南警察署で行われた「防犯・防災ポスター等完成披露会」に2年生の代表生徒が2名参加しました。

昨年度雲南警察署から「高校生による防犯・防災を呼びかける書道・美術作品」の制作依頼があり、1年次の書道の授業の一環として全員で取り組みました。還付金等の特殊詐欺被害防止をテーマに書でポスターを制作し、出品しました。他校から出品のあったものも含めてこれらのポスターは掛合コメリ、吉田総合センター、掛合総合センター、掛合広域交番等に掲示されています。



2年生 営農体験実習(田植え)を行いました

5月10日(水)2年生が「営農体験実習(田植え)」を行いました。2年生の総合的な探究の時間で行う「うやま米」「たたら焰米」応援プロジェクトも今年で3年目を迎えます。この日は好天に恵まれて、絶好の田植え日よりとなりました。

まずは宇山営農組合の組合長さんと藤本米穀の社長さんから、「うやま米」「たたら焰米」のことや、輸出先の台湾についてお話を聞き、次に班に分かれて、農家さんへのインタビューを行いました。米農家としてのやりがいや苦勞、たたら焰米の名前の由来、手植えと機械で植えの違いなど様々に質問し、中には組合長さんが出してくださったクイズの答えを上手に聞き出す場面もありました。

昼食は準備していただいたうやま米のご飯の入ったお弁当をみんなでいただきました。お米の甘さやおいしさを感じることができた、と生徒たちの感想がありました。

昼食後はいよいよ田植え実習となりました。ライン挽きも教えてもらい、引いた線の上に、全員で一斉に苗を植えていきました。経験したことがある人も何人かいましたが、多くの生徒は初めてや久しぶりに田植えをする人が多く、賑やかな声とともに貴重な経験をすることができました。

すがすがしい天気の下、どんどん緑の稲がきれいに植えられていく様は見事なものでした。



今後は、引き続き宇山営農組合の皆様や関係方面の方々と協働しながら「たたら焰米」「うやま米」の販売戦略、広報などを行っていき、秋には稲刈り、東京研修での販売も体験します。また今年度は台湾への米の輸出の他に、全国農業高校お米甲子園への出品に挑戦したいと考えています。

3年生 FM 山陰「トキ沼スクールライフ」出演しました

5月12日(金)16:45~ FM山陰「FRIDAY×FRAIDAY」の中のワンコーナー「トキ沼スクールライフ」に3年生が出演しました。

このコーナーは元高校教師の比和谷恭子さんがパーソナリティをつとめ、今どきの高校生がどのようなものにときめき「沼って」っているのか直接聴き、頑張る高校生の生の声を広くリスナーの皆さんへお届けする番組です。



当日は3年生の代表生徒4名が学校の副校長室から比和谷さんのインタビューに電話で応えました。

収録前は緊張している様子でしたが、いざ始まるとパーソナリティの比和谷さんのリードで、普段の学校の様子や昨年度雲南ブランド米のPR活動に取り組んだこと、将来の夢などを和やかなムードとともにしっかり伝えることができました。

最後のリクエスト曲が流れるまでがあっという間の10分間で、収録後、参加した生徒の皆さんも「緊張したけど楽しめた」と笑顔で話してくれました。



かけこ通信

令和5年度第3号
令和5年6月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

1年生が掛合町内を巡るバスツアーに出かけました

6月2日(金)と6日(火)、1年生の地域交流学习の本格的なスタートとして、掛合町内を巡るバスツアーを行いました。昨年度からスタートさせたこのツアーは、1年生が行っていく探究学習のために、掛合町内5地区の名所や様子を、実際に足を運び一通り見て学ぶという目的があります。

2日(金)は波多、多根、掛合の3地区を回り、波多地区では、波多神社を、多根地区では円通寺にお参りし、センター長さんにお



話をお伺いしました。掛合地区では、掛合の里で地区の現状と課題などの講話をお聞きし、その後お昼をいただきました。

6日(火)午後から入間、松笠地区に出かけ、入間地区は八重山神社へ参拝し、松笠地区は龍頭が滝に行きました。

それぞれ地元の名所のよさや歴史や伝統を感じることができました。

1年生はこの5地区の担当分かれて、1年間かけて地域課題解決のためのミニ探究学習へ向き合っていきます。



校外進路学習へ出かけました

6月8日(木)全校で校外進路学習へ出かけました。企業見学コースと学校見学コースに分かれて、バス2台で出発しました。

企業見学コースは、午前中にパナソニックソーラーシステム製造株式会社、株式会社デルタ・シー・アンド・エス雲南工場を見学しました。それぞれの製造ラインなどを見学させてもらい、一つの製品ができあがっていく様子、技術の進歩などを目の当たりにしました。

学校見学コースの午前中は、コースをさらにトリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校、出雲医療看護専門学校、コアカレッジの3学校に分けて、訪問しました。それぞれの学校での特色に応じた様々な様子を見学したり、体験したりしました。最先端の機器をとり入れた実習や実際の学生さんの様子を見ることで、それぞれの学校の特色や具体的なイメージや雰囲気などを掴むことができました。

午後からは、出雲合同庁舎で行われたライセンスアカデミー主催の企業ガイダンス・進学ガイダンスへ参加し、希望のブースを回り、企業や学校の様子を詳しく聞くことができました。

今回見聞きしたことを参考に、自分らしくいられるようなことやものを探りながら自分の進路に向き合っていくてくれることを願っています。



掛合小学校と連携活動を行っています

掛合小学校との読み語り活動や昼休みコラボなどの交流活動を今年度も引き続き行っています。

今年度初回の読み語り活動には6月2日(金)に3年生が出かけました。小学生は高校生が読み聞かせしてくれる時間を楽しんで、熱心に聞いてくれました。特に5年生で読んだ本が、小学生にも小学校の先生方にも好評で、すぐに高校に絵本を借りに来られて、話題になっていました。掛合小学校は「子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」を受賞されこの5月に表彰を受けられました。小学校での取り組みの様子などは6月1日の朝日新聞などにも大きく取り上げられています。この読み語り活動も一役かっているのかと思うと、掛合分校にとっても受賞は大変うれしいニュースでした。



今年度初の昼休みコラボ活動は6月7日(水)に体育委員を中心として行いました。この日は天気が良かったので、校庭でサッカーやドッジボール、おにごっこなどめいめいが好きなあそびをしました。高校生がお弁当を食べ終わるのが待ちきれなくて昇降口まで迎えに来た小学生に、最初は戸惑っていた生徒たちも次第にペースを掴み、一緒に賑やかな時間を過ごしました。



これらの交流を通して小学生と向き合うことで、生徒たちの自己有用感や自己肯定感が自ずと高まっていくことを願っています。

花田植えに参加しました

5月28日(日)入間交流センターで行われた花田植えに希望者の生徒たちが参加しました。

本校から11名の生徒が参加し、女子生徒は伝統衣装を身につけ「早乙女」となり田植えを、男子は法被を着て「苗渡し」をしました。本校のALTさんやその友人などの参加もあり、早乙女さんは総勢30人ほどになり、賑やかに行われました。

これまで宇山地区での田植えを経験してきた2、3年生も最初はお囃子の早さにペースがつかめず戸惑いもあったようですが、地域の方々と一緒になって行う花田植えの楽しい雰囲気を楽しんでしっかり楽しむことができました。苗渡しの男子も早乙女さんの植えていく様子を後ろからしっかり見守りながら、絶妙のタイミングで苗を渡していました。



掛合分校では1年生から地域学習に取り組んでいますが、地域への愛着や伝統文化を大事にする心が育ち、そして何より自分から進んで行事に参加しそれを楽しむことができる、まさに地域と向き合い、自分に向き合っている姿がそこにあると思いました。そしてその先には地域の方の喜びも間違いなく存在すると感じるこのことのできる日でした。



かけこ通信

令和5年度第4号
令和5年7月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

4校園連携「ごみゼロ大作戦」を実施しました

6月16日(金)午後 掛合町内の分校、小中学校、保育所の4つの学校・園の連携活動で「ごみゼロ大作戦」として町内5地区(入間地区は八重滝、波多や松笠、多根地区はそれぞれの交流センターで、掛合地区は緑地公園と忠霊塔)に分かれて清掃活動や環境美化活動を行いました。

当日は暑さが心配されましたが、普段はなかなか一緒になることのない保育園児や小中学生と和やかに作業や交流ができました。地区によっては地域の方々にもたくさん参加していただき、ひとしきり作業を終えたあとは、全員がすがすがしい気持ちになりました。暑くて大変だったとの声もありましたが、生徒からは「こういう機会がないと小中学生や地域の方と一緒に交流する機会がないので、すごく楽し



かった。」「地域の方がとても優しく話しかけて下さりととてもうれしかった」などの感想がありました。また、小中学生からも「楽しく交流できてよかった」「高校生と話せてよかった」などの感想をもらいました。

お世話になりました関係方面のみなさま、ありがとうございました。



第1回「先輩は語る」を行いました

6月27日(火)午後から「先輩は語る」を行いました。

卒業生から就職先での仕事の様子や進学先での勉強や暮らしの様子、高校時代の頃の過ごし方などを聞くことで自分の進路について改めて見つめる機会とすることを目的として毎年この時期に行っています。

今年度は、就職は植田建設、協栄金属工業から、進学は福山大学、コアカレッジからそれぞれ1名ずつ、令和3年度の卒業生に来てもらいました。いつ頃から進学や就職に向けて意識して準備をしていたか、高校生のうちにやっておいた方がいいことなど参考になることをたくさん聞かせてもらいました。

このあとの高校生活で自分の進路にしっかりと向き合い、自分の進路希望の実現に努めたその先に、数年後には今度は掛高の先輩として後輩に話す立場に誰もがなれることを願っています。



芸術鑑賞会(音楽)を開催しました

7月5日(水)、三刀屋町文化体育館アスパルにて本校と分校の合同開催で「芸術鑑賞会」を行いました。

今年度は、ゴスペルボーカルグループ「StarLights(スターライツ)」の鑑賞でした。ゴスペルの歴史的背景の話やコール&レスポンスの場面などで、盛り上がりました。

生徒からは、「素敵な歌声で、ずっと聴いていたかった。」「話もおもしろかったし、歌もたくさんあって良かった。」「ピアノが迫力あって、素敵でした。」などの感想がありました。

普段本物に触れる機会がなかなかないので、すごく貴重な機会になりました。



体育祭の色別集会を行いました。本格準備スタートしました

6月27日（火）4限に体育祭の色別集会を行いました。全学年の期末試験が終わったこのタイミングで、赤組は講堂、青組は音楽室に集合して実施しました。

まずは両組とも色長をはじめとする3年生から挨拶があり、一足早く6月12日より準備をしてきた3年生から各係についていろいろな説明があり、1、2年生の役割分担などを行いました。

3年生が、これまでの経験を活かし、自分たちは「こうしたい」という思いを1、2年生に伝えている姿を見て、さすがだなあと思いました。これまでの掛高の体育祭としっかり向き合ってきた、その先に今年度の新しい体育祭があると感じました。

会場がアスパルなど、初めてのこともいろいろありますが、よい体育祭になる予感がします。

令和5年度の体育祭を行いました

7月13日（木）に三刀屋文化体育館アスパルで体育祭を行いました。掛合町体育館の関係で、初めてのアスパルでの開催、しかも平日実施という中で、当日までの準備や内容などにもいろいろと工夫をしながらの今年度の体育祭となりました。



当日はJRが止まる大雨で生徒の登校が心配されましたが、予定どおり開催することができました。

開会式後、PTAからの熱中症対策を兼ねた差し入れをありがたく頂いてから競技開始となりました。

最初の種目「タイフーン」の男子のレースは掛高始まって以来の同着レースとなり、再度取り直しして決着をつけるなど最初から白熱した競技が繰り広げられました。

昼前の応援合戦では、赤組、青組それぞれにここまで準備してきたダンス、デコレーション、衣装などしっかりとアピールすることができました。どちらの組も3年生を中心によくまとまっており、「みんなの笑利」にふさわしい応援合戦になりました。



午前の部が終わった時点で競技は同点。午後最初の競技の綱引きからますます白熱した戦いが続き、最後の総合リレーでは走者はもちろん、見ている全員が感動と興奮の渦に巻き込まれるほどの大接戦でした。

競技、応援、衣装、デコも含め総合優勝は青組でした。しかしどちらの組も自分たちの持てる力を精一杯使って、全員がこの体育祭にしっかり向き合っていました。終わったその先に、みんなで作り上げた小さな学校の大きなパワーを感じる体育祭がそれぞれの思い出に刻まれたことと思います。平日にもかかわらず朝早くからたくさんの保護者の皆様にもご来場いただき、ありがとうございました。

第1回 学校運営協議会を行いました

6月27日（火）15：00から図書室で行いました。当日の議事録等はホームページにアップしております。詳しくはそちらでご確認ください。



ホームページはこちらから
「掛高 NEWS」よりご覧ください



かけこ通信

令和5年度第5号
令和5年8月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

3年生林業体験実習を実施しました

7月18日(火)3年生が飯南町の中山間地域研究センターで林業体験実習を行いました。中山間地域における持続可能な自然環境保全及び創造的活動について、現状と課題を認識するとともに、地元を代表する産業の一つである「林業」を体験的に学ぶことを目的としています。

午前中は、現状や課題、研究センターでの取組について講義をいただき、乾燥させたクロモジの枝から、お茶のパックを作るクロモジ茶体験を行いました。自分の手で淹れたクロモジ茶を飲みながら「いい香りがする」「個人的には好きな味だ」「苦手だった」などお茶の苦みや香りを楽しみました。

午後は4つの班に分かれ、林業機械の操縦体験やチェーンソー体験、苗木の植え付け体験などを行いました。農林大学校の2年生に教えてもらいながら、「機械の操縦は左右の手で違う動作をする必要があって難しかったけど楽しかった」「チェーンソーは音が大きくて怖かった」など慣れない作業に悪戦苦闘しながらも体験を楽しんでいました。

9月は間伐体験を中心に実習を行う予定です。林業そのものや脱炭素社会の形成に向けて興味・関心を持ってくれることを期待しています。



2年生要約学習を実施しました

7月18日(火)4限に飯南町教育委員の烏田先生をお招きして「要約学習」を実施しました。「要約学習」とは与えられた文章を読み解き、それを図式化して相手にプレゼンしながらわかりやすく伝えるというもので、文章の内容を構造的に理解する力、スピーチやプレゼンをする際に端的にまとめ、相手にわかりやすく伝える力などを身につけることを目的としています。

2年生は昨年度の3月にもこの要約学習の授業を受けており、今回はその続編になります。今年度は少しレベルアップして、図式化して相手に内容を伝えた後に、その伝えた内容を文章化するというところまで取り組みました。次の日の地元企業見学で、早速各企業で聞いた話をレポートのまとめに活用している「図式化名人」もおり、生徒たちが今後あらゆる学習活動の場面で活かしてくれることを期待しています。12月には今度は1年生がこの「要約学習」に挑戦します。



2年生が地元企業見学へ行きました

7月19日(水)2年生が雲南市の協力を得て地元企業見学に出かけました。この日は島根イーグル(株)、日本コルマー(株)出雲工場、(株)アルプロン島根工場、協栄金属工業(株)の4社を見学させていただきました。

どの企業も世界シェアや国内シェアのトップであったり、そこでしかできない技術や製品を持っており、また徹底した品質管理なども、初めて知ったり体験したりすることばかりで、あっという間の1



(裏面につづく)

日でした。お昼は雲南市役所の会議室を借りて昼食をとり、昼食後には議場の見学もさせていただきました。帰りのバスの中では、早速にインターシップ先をこの日に見学した企業に変更したいと申し出る生徒もあり、「地元どんな企業があり、実際にどんなことをしているのか、会社の雰囲気はどうかなどを知り、自分の進路選択の参考とする」というこの企業見学の目的をしっかりと果たすことができたように感じます。2学期のインターンシップ、3学期の企業説明会などでもっと地元の企業のよさや素晴らしさに向き合い、是非地元との関わりと自分の将来をつなげてくれることを期待しています。

1学期の終業式・See you! ALT Shakila.



7月21日（金）1学期終業式を行いました。全校で一人の遅刻や欠席もなく全員揃って終業式を迎えることができたことが、何よりすばらしく、うれしいことでした。

終業式では校長先生より「1学期自分に向き合うことができましたか？」と最初に問われ、最後にダチョウの持つ「強みと弱さ」を自分に置き換え「君たちはどう生きるか？」ぜひ夏休みに向き合って考えてみてほしい、と宿題をいただきました。充実した夏休みを過ごし、再び全員揃って2学期の始業式が迎えらることを祈っています。

また、7月21日（金）に、掛合分校でもお世話になったALTのシャキラ・メイナード先生の退任式が三刀屋高校本校で行われました。そのときの挨拶が掛合分校の生徒・教職員の皆さんへの思いも込められていましたのでここに紹介します。（頑張って読んでみましょう。）

4 years ago when I arrived in Mitoya. I didn't know how fortunate I was. I also had no idea that it would become very difficult to say good-bye.

Over four years I have met a lot of amazing people. These people made adjusting to life in Japan easier. They were willing to show me the best parts of Shimane and made sure I was alright during my dark times. Some of them may not be here today but each one of them has left an impression on me.

Did you know that the best part of Shimane is its amazing people?

They're genuinely friendly.

They share what they have with everyone and most importantly, they can make a stranger, far from their homeland, feel right at home amongst them for that, I think you.

Thank you for accepting me and my culture. Thank you for making my time in Japan unforgettable. I'll carry the memories of Mitoya High School and Kakeya Branch School with me for as long as I live



生徒通学階段下の排水改修工事をしています

7月31日（月）から工事が始まりました。

大雨が降ると、通学階段の下はいつも校庭にまで広がる池ができ、生徒の登下校に支障をきたしていました。（写真上段）長年この場所の排水改修工事を要望してきましたが、後援会のお力添えもあり、このたびようやく着工にこぎ着けました。

後援会や暑い中工事をしてくださる方々、関係方面の皆様本当に感謝です。工事が完了するのは8月下旬で、8月28日（月）の始業式には間に合う予定です。





かけこ通信

令和5年度第6号
令和5年10月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

2年生がたたら稲米のPR活動中間発表と稲刈り体験を行いました

天気に恵まれた9月13日(水)に2年生が宇山地区で、雲南市のブランド米「たたら稲米」の販売促進PR活動のための中間発表と稲刈り体験実習を行いました。

午前中に提案発表を行い、考えてきた戦略をお世話になっている

宇山営農組合、藤本米穀店、デザイナーさん、市役所の関係者の方々などにプレゼンしました。ご飯に合うレシピやたたら稲米にちなむキャラクターのデザイン、販促グッズ、PR動画など各班の発表や提案に、関係者から質問や改善点の要求、アドバイスなどたくさんもらうことができました。



生徒制作キャラクター
ほかげくんとおこめくん



午後から稲刈りのために5月に田植えをした田んぼへ行きました。自分たちが手植えしたヒョロヒョロの苗が心配でしたが、しっかりと実って整然と並び育っている稲を見て、生徒たちはほっとした様子でした。稲刈りは、カマを使ったことがないという生徒に少しだけ手で刈りを、そのあと全員が順番にコンバインで稲刈りを体験しました。最初は一緒について乗って教えてもらいながら、操作に慣れば一人で運転させてもらいました。

今回の発表提案でいただいた意見を参考に最終仕上げに向かい、10月26日(木)の日比谷しまね館で

行う「特別販売会」での販売実習に向けて取り組んでいきます。



【特別販売会チラシ↑】

令和5年度教育実践研究論文最優秀賞を受賞しました

日本教育公務員弘済会島根支部が募集していた教育実践研究論文に、昨年度末掛合分校から応募していた論文が県で最優秀賞を受け、10月3日(火)に授与式がありました。

【研究論文】

○主題：地域の関係諸機関と協働しながら進める探究学習(PBL)の持続可能とその教育効果について
副題：「掛合分校がうんなんのお米を応援するプロジェクト」の取組を通して

論文は令和4年度の2年生の総合的な探究の時間を中心とする取組の様子を中心に、地域との協働の在り方、今後の展望などもまとめられています。プロジェクトをやり遂げた満足感や充実感だけでなく、生徒たちに主体性や地域貢献意識の高まりをもたらしたことの研究結果が認められ今回の受賞となりました。今年度も2年生が「うんなんのお米を応援するプロジェクト」に取り組んでいます。今後さらなる発展を目指し、地域の皆様とともに頑張っていきたいと思っています。



球技大会を行いました

10月5日(木)全校生徒でアスパルを会場に球技大会を実施しました。

種目はバレーボールとバスケットボールの2

競技でした。ちょうど今、アジア大会やワールドカップなどが開催され、連日でこれらのスポーツを観戦する機会がたくさんあり、まさにスポーツの秋にふさわしい時期に今回も雲南市教育委員会をはじめ、さまざまな方面からご支援をいただきながら、球技大会が開催できましたことをここに感謝します。



当日は楽しく和やかに、それでいて真剣なプレーが繰り広げられました。学年対抗でしたが僅差な試合もたくさんあり、他学年との交流、クラス全体の団結力や連帯感などをしっかりと高めることができた行事となりました。



改修工事が2つ完了しました

長年の念願であった生徒通学用階段下道路の排水工事、校舎内玄関受付前階段の工事が完了しました。

◆生徒通学用階段下排水工事

7月下旬から工事が始まりましたのは前号でお伝えしたところですが、8月26日(月)の始業式に間に合うように工事を完了していただきました。始業式の日が良い天気でしたが「おー」「しっかりと固いね。」と新しくきれいな道を踏みしめ、嬉しそうに通っていく生徒たちの様子がありました。これから雨の日にもっとこのありがたみがわかると思っています。



修繕前：ちょっとの雨で校庭まで広がる池に



修繕後



◆校舎内玄関受付前階段修繕工事

校舎内の南棟の2階に上がる玄関受付前階段はシロアリの被害に(修繕前は左2枚の写真)あっており、また階段下の倉庫も戸が壊れ使い勝手の良くないものでした。この度の修繕工事で特に被害のひどかった階段中ほどの4段と、階段下倉庫を修繕していただきました。(修繕後は右の2枚)

9月中旬から工事が始まり、週末を利用しながら進めていただきました。階段下の倉庫も使いやすくなりました。木造の温かみのある古い校舎ですが、引き続き大事に使っていきたいと思います。



修繕前：シロアリ被害にあった階段と階段下倉庫



修繕後



改修要望から今日の日までご尽力いただきました関係各所の皆様に本当に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



かけこ通信

令和5年度第7号
令和5年11月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

2年生が東京研修旅行に行ってきました



10月24日(火)~27日(金)の3泊4日で2年生は東京研修旅行に行きました。4日間とも天気に恵まれ、これ以上ないくらいの充実した研修旅行ができました。

まずこの研修の最大の目的、うなんブランド米「たたら焔米」の特別販売会を10月26日(木)の午後日比谷しまね館で行いました。この日のために半年間してきた準備は万端。当日はたくさんのお客様に来ていただき、販売会は3時間ほどでしたが、用意したお米を完売することができました。生徒たちも最初は緊張していましたが、しっかりとお米のPRができたこと、声かけに応えていただきお米が売れていく嬉しさと喜びを体感することができました。

この研修旅行は東京から自分たちの故郷を見つめなおすことを目的にしており、販売会の他に埼玉県立小川高校との交流を行い、掛合町と似た感じの小川町でグループに分かれまち歩きをしながら、町の魅力や課題を発見・共有しました。また日比谷しまね館の館長さんや(株)アルプロンの社長さん、島根出身の国会議員の先生などと対話の機会もありました。



羽田空港の飛行機整備場、ライオンキング鑑賞、東京ディズニーランドなどで一流のものに触れたり、また都会の公共交通機関に揉まれたりと、都会でしか味わえない体験をたくさんしました。

帰りは羽田空港の混雑で飛行機が随分遅れ、保護者の方々にご心配をおかけしましたが、島根に帰る飛行機に乗れた時のみんなのホッとした表情を忘れることができません。地元の良さ、帰る場所があることの安心感をたくさんの思い出とともにかみしめたことと思います。夢の国からの帰校とともに今後の学校生活に研修旅行で得たことを大いにいかしてくれることと確信しています。



1年生が波多地区のはやしこに参加しました

11月14日(火)1年生が波多神社秋の例大祭のはやしこに参加しました。朝は非常に冷え込んでいましたが、当日は晴天に恵まれすがすがしい天気でした。

生徒たちはさらさ役、太鼓やお菓子の配布などそれぞれの

役割を務め、本番のゆっくりした歩き、伝統文化や波多の街並みなどの地域の様子を肌で感じ、楽しみながらいろいろなことを体感することができました。



最後に波多神社で地域の方からも「大変よいはやしこが奉納できた」とおっしゃっていただき、参加した生徒たちも少しでも地域の役に立てたことをうれしく思えたようで、終わった後はこの日の空のようにみんながすがすがしい顔をしていました。伝統文化、地域の思い、地域の人々に向き合った充実した1日となりました。



創立70周年記念行事を行いました

11月11日(土) 掛合小学校の体育館で記念式典および記念生徒発表・アトラクションを行いました。



あいにくの天気でしたが、多くの来賓の方をお招きし150名を超える参列者とともに、この記念すべき日をお祝いすることができました。式典は70年の歴史を振り返りながらこの佐中の地での分校の存在意義を確認するとともに分校の将来について参列者一同が思いを一つにする場となりました。



生徒代表挨拶で難波さんが自分の高校での成長は掛合分校の特色ある教育にあり、70年の歴史を顧みるとき「この学校で学べることへの幸せと責任を感じる。今後さらに良い学校を築いていくことを誓います。」と述べ、式典を締めくくりました。

その後の生徒発表では、3年生による「カケコー70年の歴史 ～閉校の危機を乗り越えて～」と題して地域創造の授業で調べた70年の歴史を現在の自分たちの学校生活と比較、紹介し、古い映像や写真を織り交ぜながらの発表は参列者を楽しませました。最後のアトラクションでは郷土芸能同好会と卒業生による掛合太鼓の披露、今回の創立70周年記念発表用にアレンジした1年生による掛合太鼓を披露し、会場は興奮と感動の渦に包まれました。

同窓会、後援会、PTAの皆様をはじめ多方面にわたりご協力いただき、さまざまな方のおかげでこの式典を無事、成功裏に終えることができました。多方面からたくさんご厚志をいただきましたことと合わせて、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

掛高祭(文化祭)を開催しました

11日(土)14:00から掛高祭(文化祭)1日目で1、2年生の学習成果発表会を行いました。まず1年生が今年度町内5地区に分かれ探究学習に取り組んできていることの中間発表を行い、そのあと2年生がこれまで取り組んできた雲南ブランド米応援プロジェクトⅡの取組と先般東京研修の際に行った日比谷しまね館での販売活動の様子を報告しました。



12日(日)に掛高祭2日目を行いました。オープニングからのビブリオバトル、そのあとクラス企画、委員会企画・展示、部活動企画・展示などが校内のあちこちで繰り広げられました。1日目に続きフード選択者と有志による焼き菓子販売、宇山営農組合さんによるお米の販売があり、2日目には新しくPTAによるパンや飲み物、キッチンカーでのスイーツ販売などもありました。

午後からは全員で講堂に集合し、音楽ステージを楽しみました。Utabu や生徒有志による出し物、山崎先生やカーソン先生の出



し物に菅原先生も加わりステージを盛り上げてくださいました。

3年生有志によるダンス発表もあり、最後に創立70周年記念企画に合わせ全員合唱を行いみんなでアンジェラ・アキさんの「手紙～拝啓十五の君へ～」を歌いました。

保護者をはじめ外部からもたくさんの方においでいただき、学校全体でみんなが参加し、しっかり楽しめる素敵な文化祭となりました。





かけこ通信

令和5年度第8号
令和5年12月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

小学校と合同避難訓練を行いました

12月7日(木)午前中に小学校と合同で避難訓練を行いました。今回は地震を想定した避難訓練でした。

本来なら校庭へ避難して、第3次避難として掛合総合センターまで避難するところですが、時間と天気の関係で今回はまず、第1次



避難として教室で机の下に、次に第2次避難として屋外で駐車場に、最後に第3次避難で小学生と一緒に小学校体育館前まで移動する訓練をしました。

小学生と一緒にだったこともあったのかもしれませんが、緊張感と真剣さが伝わるきびきびとした避難訓練でした。

第3次避難のときは小学生と高校生が並んで歩き、気に掛ける様子があり、高校生らしさを感じました。

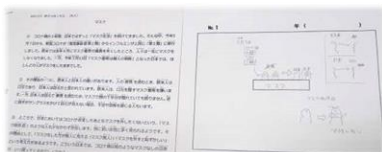
まずは自分の命を守ること、それが確認できれば高校生は弱者や地域の助けになるような活動へと移っていける意識と行動力が備わっていくことを願っています。



1年生が要約学習に挑戦しました

12月8日(金)に1年生が国語の授業で要約学習に挑戦しました。講師には飯南町教育委員会から烏田勝信先生をお迎えしました。

はじめは要約学習とは何か、文章の図式化とは、という講義からスタートし、その後実際に文章を図式化し、お互いにその図をみて相手にプレゼンする(伝える)ということを練習しました。



最初は図式化にとまどう生徒も多くみられましたが、次第にコツをつかみ、ポイントを押さえた簡潔で分かりやすいプレゼンがあちこち

で見受けられるようになりました。

相手にわかりやすく伝えるためには、自分の中できちんと理解しておくことが必要です。長い文章をただただ読み上げて説明するのではなく、多くの情報は図式化してまずは自分の中で整理すること。そしてその図を頭に入れておくことで、用意した紙を見ることなく自分の言葉で簡潔に説明ができるようになるとのことでした。

今日学んだ技法を使い、日頃からアウトプットするところまで意識していくと「図式化名人+プレゼン名人」に到達できます。ぜひいろいろな場面で活用してくれることを期待しています。

第2回を少し時間をおいて2年生で実施する予定です。



1,2年生が林業学習を行いました

12月12日(火)午後から1,2年生が講堂で授業の一環として林業学習を行いました。

講師は飯石森林組合、東部農林水産振興センター雲南事務所から4名来校いただきました。

前半では森林の働き、島根の循環型林業について学び、後半には森林測量について学びました。



講義全体を通し

て、森林の恩恵を受けながら生活をしていることや森林を整備する意義・方法について教えていただきました。

講義の中では、重機による伐採作業の映像もあり、生徒たちは興味津々で説明を聞いていました。

1,2年生のうち是这样やって講義を受けながら、知識や興味関心を高めていき、3年生で2回ある林業体験実習へつなげていきます。林業の町掛合にある学校の特色ある取り組みとして、3年間通して地域や環境などに向き合っていきます。



雲南市長と高校生との意見交換会が行われました

12月15日(金)放課後に2年生4名と3年生4名が参加し、石飛市長との意見交換会が行われました。

この意見交換会は、市長さんが雲南市のこれからについて高校生の率直な意見が聞きたいということで、今年度に入り雲南市内3高校と出雲養護学校雲南分教室のそれぞれで行われてきました。

当日は市長さんのほかに景山教育長、政策推進課や広報課の方も同席され約1時間の会となりました。



まず市長さんから雲南市での暮らすことについてお話しいただき、将来的に雲南市にとどまってもらう、もしくは県外等から来てもらうためにはどんなことやものがあたらいいか、魅力は何だと思ふかなどの質問が高校生に向けられました。それらに対してはなかなか明確な回答はできなかったものの、話が進むうちに市長さんの親しみやすさに気持ちもほぐれ、高校生からの質問タイムでは「本当に何でも聞いていいんですか?」と確認し、食生活や年収など生徒たちは関心のあることを遠慮なく質問していました。それに笑顔で答えてくださる市長さんに人柄を感じることも多く、笑いあり、ざわめきありと本音でなんでも語りながら、和やかな時間を過ごしました。

最後に市長さんから「高校生が自分たちの思いや願いについて声を上げることで地域の皆さんがきっと助けてくれるはず。やる気を伝えることが大切」との言葉をいただき、生徒たちが今後学校生活を過ごしていくうえでも学びの多い時間になりました。今回の意見交換会を通して市長さんとはもとより、自分たちの住む地域にも改めて向き合うことができました。



かけこ通信

令和5年度第10号
令和6年2月22日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校 発行

「地元企業ガイダンス」を行いました

1月26日（金）の午後に1，2年生全員が掛合総合センターを会場にして行われた地元企業ガイダンスに参加しました。

このガイダンスは、地域と地元企業の魅力を知ることにより高校生が自らの将来の選択肢を広げ、地元就職と地域の発展につなげることを目的として、県の雇用政策課、市の商工振興課の協力を得て毎年開催しています。昨日までの大雪が心配されましたが、雲南市内から13社の参加があり、今年度も無事開催することができました。

各企業や事業所のブースに数名ずつ分かれて20分ずつ4回転しました。

2年生は昨年度分を含めると2年間で延べ8つの企業や事業所の様子を知ることになります。



お話くださった企業や事業所の方の中には掛合分校の卒業生の方がおられたり、卒業生が就職先としてお世話になっている企業もありました。また自分たちの普段の暮らしや学校生活をいろいろな形で支えてくださる実態もわかり、それぞれの企業や事業所を身近に感じる事ができたようでした。



地域に向き合い、企業や事業所に向き合い、これらから自らの将来に向き合っていくための貴重な時間となりました。

地域に向き合い、企業や事業所に向き合い、これらから自らの将来に向き合っていくための貴重な時間となりました。

「消費者講座」を行いました

2月5日（月）3年生の登校日に消費者講座を行いました。

この講座は、日本銀行松江支店内にある県の金融広報委員会から金融広報アドバイザーの遠藤紀子先生を講師に迎え、これから就職や進学で社会に出ていく前に、正しい知識を身に付け、トラブルに巻き込まれたりすることがないように、契約、カード決済、消費者トラブルなどについて学ぶことを目的に行いました。



生徒たちは、契約の仕組みや対処法を学んだ後、実際にお金を借りた場合の返済シミュレーションで感覚を養いました。「誘われても、自分の判断で断る勇気をもてるようにしたい。」「困ったときはためらわずに相談したい」「計画してお金を使いたい」と感想を述べていました。

「人権・同和教育講演会」を行いました

2月2日（金）午後から、人権・同和教育講演会を行いました。

この日は3年生の登校日にしており、3学年揃って講堂で実施しました。

今年度は、性の多用性について理解すること、お互いの違いを受け止め、支えあう社会を築いていくためにどうすればよいのか考えることを目的として、講師を島根のちょっこし LGBTQ 相談室から多賀法華さん、ひみつきち〜にじっと〜からゆうきさんのお二人にお願いしました。

お二人の掛け合いのような形で講演は進みましたが、お二人の幼少の頃からこれまでの経緯や経験してきた思い、世の中の様子やこれからどう向きあっていくのか、一つ一つ丁寧にわかりやすくお話しいただきました。自分自身のことを振り返ったり、多様性の受け入れについて真剣に考えたりできた有意義な時間となりました。「普通の反対はもう一つの普通」という言葉が多くの子の心に残ったようでした。自分らしさに向き合い、相手を受け入れていける人が増えていけば、きっともっといろいろな人が過ごしやすい世の中になっていくだろうと想像できました。そういう世の中を生徒たちが作っていかれることを期待しています。



「キャリア教育講演会」を行いました



2月14日（水）、学力育成事業の一環としてキャリア教育講演会を実施しました。この講演会は、目的意識をもつことや学習の動機付けを図ることを目的として、東京から香取貴信氏にお越しいただき開催しました。

香取氏は、『社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった』の著者であり、自身が設立された有限会社 香取感動マネジメントで「感動サービス」「人材育成」を主なテーマとして、年間200回、過去3000回以上の講演を手掛けていらっしゃる方で、今回縁あってお招きすることができました。



この日は『私が体験したディズニーマジック!!』というタイトルで、高校1年時に始めた東京ディズニーランドでのアルバイト、ヤンキー少年だった香取氏にとっての運命的な出会い、日々「はたらく」中で手に入れた一生ものの思い出や体験、身につけたことを、包み隠さず、ありのままの姿、言葉で語ってくださいました。

笑いあり、涙ありのあっという間の2時間で、みんな時がたつのも忘れてお話しに夢中になっていました。

夢ができればいいから。可能性は未来の力。

「可能性のない人間はいない」

今この瞬間からこの力強い言葉に向きあった、その先に…。

ずっと先かもしれないけど、いつかきっと実感できると思います。

“大丈夫、あなた(私)は素晴らしい”

